

どこかで会ったような人だな。  
昨年、オーストラリアの高校との  
交流に、生徒をつれて一週間のホー  
ムステイの旅に出かけた。このと  
き、旅行代理店のお世話になつた  
のだが、やつてきたのがどこで  
みたような人物、果たして北高に  
在籍していたT君(留学先の高校  
を卒業したらしいが)、結局、準  
備段階から現地での私的なツアーブ  
まですっかり面倒をみもらつた。

英語を駆使しテキパキと仕事をす  
るさまは、いくら職業のちがいと  
はいえ、本当に頼もしいものでし  
た。きっと、卒業生の皆さんは今、  
彼のように第一線で活躍なさって  
いることでしょう。実際、いろんな  
ところで出会いました。子供を  
保育所に入れたら、その保母さ  
んはかつて担任したIさん。そし  
てそこに一緒に子供を預けにきて  
いた母親はOさん。なんだか、は  
ずかしいやうなやうなやうなやうな  
仲間ではかつて同僚として机を並  
べたAさん、N君。近所なので時々

出会う小学校のH君。忘年会でお  
世話になったホテルの営業のNさ  
ん。家を購入したときには法律事  
務所のFさん等々。残念な知らせ  
もありました。S君が大学院在学  
中に事故で亡くなつたとのこと。  
北高在籍中から、才能の片鱗をみ  
せていたので、どこまでいけるか  
本当に期待していた人物だったの  
です。ご冥福を祈ります。

北高を去つて、十一年が過ぎ去  
ろうとしています。職員室での離  
任の挨拶で、思わず涙ぐんでしまつ  
たのを思い出す。北高には開設二  
年目から十三年間も勤務したのだ。  
この間に、結婚もしたし、子供も  
生まれた。いろんな思いが交錯し  
たのだろう。

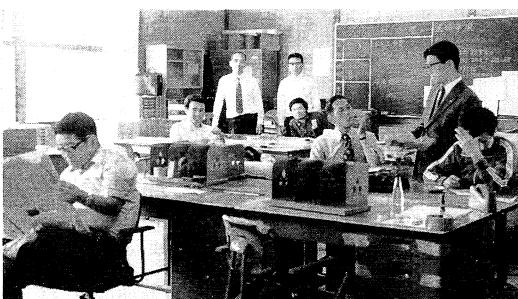
ところが、今回、小川君から同  
窓会報に一文をと話があつたとき  
は正直困惑した。当時のことは霧  
の彼方であまり思い浮かばないの  
友人に会つたとき、彼は当時の私  
の言葉を覚えていて、こう言つた  
ではないかという。言つた本人は  
覚えていない。そこにいた旧友と  
も次々に昔の会話を復元するので  
感心したものだ。私はたちどころ  
に忘れる方らしい。日記でもつけ  
が、残念ながらその習慣もない。  
そんな私でも、自分の高校時代の  
光景なら一枚の写真のように思い  
浮かぶものがあるのだから、記憶  
のメカニズムは単純ではないのだ  
ろう。

さて、私に残された手段は写真  
を見ること。そんなわけでダンボーパ  
ル箱に無造作に突っ込まれている  
写真を探しだし、記憶を手繕つて  
みよう。

この写真は北高が長沼の地に移  
った大変という劣悪なものだった。  
北高はプレハブ生活が二年も続く  
恵まれない出発をした。その後建  
てられた鉄筋の校舎も、廊下は狭  
く、階段の一方は外階段で雨が降つ  
たら大変という劣悪なものだった。  
にもかかわらず、当時、生徒も職  
員も明るく、未来に対する希望に  
輝いていたように思う。オイルショッ  
クの影響は多少あつたものの、学  
校も生徒も職員もみんな若くエネ  
ルギーに満ちていた。その雰囲気  
がその後の伝統になつていったよ  
うに思われる。素直な生徒、荒削  
りで樂しみな生徒、本当に魅力的  
な人物が入り交じっている学校だっ  
たように思う。

昭和五十八年、高濱先生が女子  
の顧問に変わった後、私がバレー  
男子の顧問を引き受けた。私自身  
はバレー経験が無いのでほとんど  
彼らの自主練習にまかせていた。  
普通はそれでだめになることが多  
いのだが、そうなるには彼らは少々  
真面目でそしてセンスがあった。  
教育実習に順天堂の波多野さんが  
た年、昭和五十一年のプレハブ職  
員室のようすである。なつかしい  
顔ぶれである。この年、着任した  
私は、中庭で無造作に置かれたブ  
ロックに乗つて新任の挨拶をした  
ように思う。廊下を歩けば音がし、  
隣の教室の声が聞こえただろうが  
その記憶はない。仮設トイレ、こ  
れはいやだったの覚えている。

世の中にはもの覚えの良い人と  
悪い人がいるようだ。学生時代の  
悪い人がいるようだ。学生時代の



長沼プレハブ職員室（1976）左から2人目が筆者

の顧問に変わった後、私がバレー  
男子の顧問を引き受けた。私自身  
はバレー経験が無いのでほとんど  
彼らの自主練習にまかせていた。  
普通はそれでだめになることが多  
いのだが、そうなるには彼らは少々  
真面目でそしてセンスがあった。

最後に卒業生のご活躍と同窓会  
のますますのご発展を祈つて筆を  
置きます。（千葉女子高校教諭）

**同窓会報**

第十九号

編集発行 千葉北高等学校同窓会事務局  
印刷 (有)宮坂印刷



まさかの関東大会

# 第22回同窓会 総会報告

事務局次長（会計）

渡邊康裕

私は昨年四月に他の十二名の先生方と本校に赴任しました。大変穏やかな、節度のある生徒であるというのが第一印象でした。創立二十五年を迎える本校を同窓の皆様方が嘗々と築き上げた伝統を受け継ぎ、益々円熟したものにしていかなければならぬと思います。さて、この機会に、本校の現状を何点か報告させていただきます。

## (1) 学校週五日制に向けて

平成十四年に完全学校週五日制がスタートします。それに伴って教育課程も変わります。このことを踏まえて、ビジョン検討委員会教育課程検討委員会を組織し、「これから北高」について充分討議を重ねてまいりました。全教職員の熱い思いもあり、そろそろ結論が纏まりそうです。校長加賀美先生の御指導の下、「これから北高」の新しい一ページを全教職員が一丸となって築いていこう

と張り切っております。

## (2) 本校の評価は

少子化の昨今、本校の置かれている環境も厳しいものがあります。しかし、これまでのレベルを下げずに、さらに飛躍を期す努力を重ねています。本校への交通のアクセスが悪い等の不利な条件がいくつかあるなか、全教職員一丸となつ

教育推進校の指定を受けて以来、本校の特色の一として国際理解教育を進めてきました。その一環としてのオーストラリア短期留学も、本年度で第二回を数えることとなりました。さらに進展をさせねば、来年四月にはオーストラリアからの留学生を本校に迎えます。今その準備を進めております。

田外語大学や駒澤大学、日本大学等を見学してきました。

を中心熱心に受験勉強に取り組んでおりました。指定校推薦も質的にも量的にも充実してきております。また六月には、二、三年生を対象に大学訪問を実施致しました。バス一台の人数でしたが、神

田外語大学や駒澤大学、日本大学等を見学してきました。

## 『北高は今』

教頭 鈴木哲夫

て様々な取り組みをしております。例えば、学校説明会、中学校訪問等であります。他にも様々な取り組みを行っております。そうした努力の積み重ねで、本校の評価も高まっております。

## (3) 国際理解教育を特色に

本校は、平成六年度、国際理解

今後も国際理解教育をさらに充実させ、本校の特色としてさらに充実していく方針です。

## (4) 一人ひとりの自己実現に向けて

進路についても、近年かなり自己実現が達成されております。この夏休みには、進学補習が今までにくたくさん開講され、三年生

真剣に取り組んでおります。北斗祭に向けての諸準備の様子、また合唱コンクールにおける生徒達の熱唱、これらによく表れています。特にクラス一丸となつてのハーモニーのすばらしさは他にそうはないと思います。校内体育大会にお

いとあります。校内体育大会においては、役員会・会員管理委員会、九月五日（日）第二回役員会・会員管理委員会、九月二十日（日）第三回役員会・会員管理委員会を行い、会員名簿発刊にむけ準備しました。十一月二十一日（日）幹事会・OB会連絡協議会を千葉市「武井總本店」にて、十二月二十五日（金）同窓会報（第十八号）を発刊、二月十四日（月）・二

月八日（火）リレー大会、二月二十六日（水）関根・大柳・近藤六位近藤・高野・中村・関根四位

の関東大会出場をはじめ、ラグビー部、サッカー部、弓道部、女子バレーボール部の活躍が目立ちます。

文化系では吹奏楽部、書道部も大変よく活躍しております。大会などで直接活躍できない部活もありますが、顧問の指導の下、熱心に練習に励んでおります。

以上ほんの何点かの報告となってしましましたが、母校を思い出されるよですがとしていただければと思います。同窓の皆様方には、今後とも母校を暖かく見守ってくださいますようよろしくお願ひ致します。

去る五月二十三日（日）千葉北高校セミナーハウス「北友館」に

おいて、第二十二回定期総会が行われ、すべての議題が議決されました。

## 平成十年度活動告

「基本方針」の（1）同窓会長期活動計画の樹立・（2）母校への側面的支援を図る・（3）外郭団体との協調を図る・以上三点を軸に、

本校は、平成六年度、国際理解

（1）同窓会財政見直しとムダのない活動の展開・（2）同窓会報の内容充実・（3）OB会との連携と事務の円滑な運営・（4）同窓会員名簿第四版発刊準備を「十年度重点目標」としました。五月十六日（日）は役員会（総会準備等）を行いました。

（2）同窓会報の内会、九月五日（日）第二回役員会・会員管理委員会、九月二十日（日）第三回役員会・会員管理委員会を行い、会員名簿発刊にむけ準備しました。十一月二十一日（日）幹事会・OB会連絡協議会を千葉市「武井總本店」にて、十二月二十五日（金）同窓会報（第十八号）を発刊、二月十四日（月）・二

## 部活動報告（平成十一年度）

（水泳）  
・関東大会出場  
高野真司 一〇〇平泳ぎ 二〇〇平泳ぎ 四位  
一〇〇平泳ぎ 二〇〇平泳ぎ 六位  
男八〇〇リレー 渡辺・関根・  
雄井雪絵 大柳・近藤・高野・  
男四〇〇メドレー 近藤・高野・  
中村・翼 中村・関根  
・県総体出場  
高野真司 一〇〇平泳ぎ  
二〇〇平泳ぎ 六位  
雄井雪絵 二〇〇背泳ぎ  
中村・翼 大柳・近藤・高野・  
男八〇〇リレー 渡辺・関根・  
男八〇〇メドレー 大柳・近藤・  
近藤・高野・中村・関根 四位



# 平成十一年度幹事会・OB会連絡協議会開催される



昨年の十一月二十七日(土)に千葉港の「ポートプラザちば」で平成十一年度幹事会・OB会連絡協議会が開催されました。会は、渡邊事務局次長の司会で以下のように進行しました。最初に会長あいさつ(妹尾会長が欠席)のため土屋事務局長(代)統いて千葉北高校長あいさつ(加賀美校長欠席のため鈴木教頭)最後に来賓挨拶(関本克己名誉顧問・現昭和学院秀英高校監事)をいただき続いて、来賓の先生方の紹介が行われました。

その後懇親会に移りました。

ずつ数分間のお話を頂きました。

さらに、この日みえた卒業生の方々の紹介および近況報告がなごやかな雰囲気の中で行われました。三山先生の中締めの後、全員での記念写真を撮影し盛況の中でこの日の集まりを終えました。



【一期生】馬場亮一  
佐藤(矢島)明子  
山崎進  
須釜敏幸  
福山一裕  
田中(友野)みゆき  
武田(葉科)康江

【二期生】  
小坂部政文先生  
(千葉北高校総務部長)  
白井孝先生  
(千葉北高校三学年学年主任)  
【事務局】  
土屋誠  
(事務局長・一期生)  
小川健太郎  
(事務局次長・二期生)  
渡邊康裕  
(事務局次長・三期生)  
森北信也  
(事務局・十八期生)

【二十一期生】森下周平他  
【二十二期生】稻坂正洋他

## 【来賓】

関本克己先生  
(昭和学院秀英高校監事)

津嶋捷志先生  
(市立銚子高校校長)  
三山三郎先生  
(県立八千代東高校校長)  
石井希佳先生  
(県立横橋高校教諭)

足立直也先生  
(県立千葉商業高校教諭)  
鈴木哲夫先生  
(千葉北高校教頭)

小坂部政文先生  
(千葉北高校総務部長)  
白井孝先生  
(千葉北高校三学年学年主任)

【事務局】  
土屋誠  
(事務局長・一期生)  
小川健太郎  
(事務局次長・二期生)  
渡邊康裕  
(事務局次長・三期生)  
森北信也  
(事務局・十八期生)

## 編集後記

### 今年もまた古い話で申し訳ありませんが、ブレハブ当時の職員室(のひっこし)の写真を載せました。』

り返ることが大事ではないでしょうか。

今年もまた古い話で申し訳ありませんが、ブレハブ当時の職員室(のひっこし)の写真を載せました。』

世に歴史学という学問がありますが、少年がらみの事件だけではなく、時代の大変さ、重要さを学ぶ学問だと思います。

### 武田 康代



### 稻坂 正洋



## 「幹事会に参加して」

あるということはとても素晴らしいことだと思います。

「これからも同窓会の活動を頑張っていこう」と思った一日でした。

「これで古い話で申し訳ありませんが、学生の方も、社会人の方もそれぞれに今の自分を考える時、常に原点に帰れとは言いませんが、振

り返る、掘り起こすのは大切なことがあります。

(小川健太郎)